

- 災害などの非常時への備えをしよう。
- 家の中の危険をへらす方法とは？

1 東日本大震災の時、特に困ったことを3つ思い出してみよう（具体的に書くこと）。どのような準備があれば、よかったかも考えよう。

困ったこと	必要な準備	○△×

現在・・・十分準備をしている:○ 少しはしている:△ 全くしていない:×

※ △や×になったものはなぜ十分準備できないのか、どうすればよいのかを考えよう。

2 大きな災害が起き、あなたは自宅から避難しました。しかし、避難先は孤立（道などが寸断され、助けや物資が届かない状態）し、断水、停電の状態、ガスもなく、布団や毛布などもわずかしがありません。自宅から持ち出すことができたのはリュックをひとつだけです。これから外部からの救援なしに3日間生き延びるために、リュックに入れるべき10のアイテムを考えよう。食料は種類を明確に。

		他の人の発表を聞いて気がついたもの	

3 家の中の危険を減らそう。

巨大地震の時、家の中でのどのようなことに危険を感じたか思い出してみよう。

（答え方の例 ○○にあった△△）

飛んだり落ちたりしたもの	割れたり壊れたりしたもの	倒れたもの
教科書p.243（教育図書 家庭総合ともに生きる 明日をつくる）を参考に対策を立てよう。		

- 消費者の行動が社会に及ぼす影響と消費者としての責任について考えよう。
- 情報の収集と活用の必要性について知ろう。
- 食の安全について考えてみよう。

1 資料1を読んで、消費者の行動が社会に与える影響について考えよう。

(1) 消費者とは？

(2) 被災地ではない首都圏で「買いだめ」が起きた原因を考えてみよう。だれがこれを起こしたのか？

	買いだめを起こした責任が	どうすればよかったのか、何が必要だったか
消費者（最終的に購入し使用する人）	とてもある・少しある あまり無い・全く無い	
販売業者 流通業者	とてもある・少しある あまり無い・全く無い	
行政(国や県等)	とてもある・少しある あまり無い・全く無い	
メディア（新聞・テレビ・インターネット等）	とてもある・少しある あまり無い・全く無い	

(3) 消費者の行動が社会に及ぼす影響を考えてみよう。

消費者の行動が社会に及ぼす影響は とても大きい・ある程度大きい・小さい・全くない

(4) 「買いだめ」を防ぐために、消費者にとって最も必要なもの、必要なことは何だったのか？

2 資料2を読んで、食品の安全について考えてみよう。

(1) 食品の放射性物質の基準が強化されたことをあなたはどのように思いますか。

賛成 ・ 反対 理由

(2) あなたは自分の食べる食品が安全かどうかをどのようにして判断したいと思いますか。自分の考えに近いものを選び○をつけなさい（複数可）。○をつけたものは右側の問いに答える。

新しい基準をクリアしていれば安全だと思う。	基準をクリアしているかどうかを調べる方法は？
信用できる店のものなら安全だ。	信用できる店かどうかを判断する方法は？
家族が選んできた物なら安全だ。	家族はどうやって選んでいるのか知る方法は？
安全かどうかを自分で判断する。	判断するために必要なことは？
その他 ( )	

(3) 安全な食品を選ぶために、最も必要なことは何だと思いますか。

3 あなたは、福島県産の農産物を選んで食べたいと思いますか。そうは思いませんか。その理由も述べなさい。

○消費者としてのエネルギー利用の在り方を考えよう。

1 エネルギー利用について、自分の考えや行動をチェックしてみよう。

(1) 次のことはあなたにとって困ることか？ 困ることにはチェックをしよう。

- 店内の売場の照明の一部が消えている。       自動販売機の照明が消えている。
- 店内の商品をきれいに见せるためのライトアップがされていない。       冬の暖房温度が低い。
- 夏の冷房温度が高い。       看板の照明やネオン等が夜になっても点灯しない。
- 旬でない野菜が食べられない。 ※旬とは？ 次のものの旬は？    いちご、トマト、ほうれん草
- 街灯が暗い、またはついていない。       テレビは一家に一台である。

(2) 震災直後と今を比べてみよう。

震災直後は電気を節約 した・しなかった      今は電気を節約 している・していない

2 エネルギー利用の変化をみてみよう。グラフ1、2よりどのようなことが分かるか。次の点から考えてみよう。

- ・1970年と現在のエネルギーの消費の仕方、特に変化の大きいものはどのようなことだろうか？
- ・暮らし方にどのような変化があったと考えられるだろうか？

3 エネルギー利用の課題について知ろう。

(1) エネルギー消費量の増加が原因の、地球規模の問題は何か。

(2) 原子力エネルギーと再生可能エネルギーの利点、欠点はどのようなことだろうか？ (参考: グラフ4)

※再生可能エネルギーとは・・・

	利点	欠点
原子力エネルギー		
再生可能エネルギー		

4 これからのエネルギー利用について考えよう。2045年に発電方法によって電力を選択できるようになっているとしたら、あなたはどのようにエネルギーを利用していると思いますか。下から選び、理由を具体的に述べなさい。(参考: グラフ3、4)

- ① 原子力エネルギーを利用し、便利な生活を、低コストで送っている。
- ② 原子力エネルギーは利用せず、再生可能エネルギー利用は現在と同じ程度で、現在よりは不便な生活をしている。
- ③ 原子力エネルギーは利用せず、再生可能エネルギー利用を増やし、便利な生活を送っている。コストが高い。
- ④ その他 (具体的に述べる)

5 あなたが4で選んだことを、もし多くの消費者が行ったとしたら、社会全体としてはどのような変化が起きると思いますか。エネルギー利用に関する2045年の社会の様子を具体的に述べなさい。

○支え合うことがなぜ必要なのか考えよう。自分も支える存在になろう。

1 東日本大震災時の報道を思い出したり、資料1、2を読んだりして、災害時の支援についてあなたが感じたことをまとめてみよう。

2 大震災以前から、私たちの生活の中で海外へ依存しなくてはいけなかったことにはどのようなことがあるだろうか。

3 これまであなたが成長してくる中で、地域の人たちのお世話になっていることにはどのようなことがあるだろうか。

4 東日本大震災では、犠牲になった方に占める高齢者の割合が高く、「災害時要援護者（災害弱者）」の問題も浮き彫りになった。災害弱者について考えてみよう。

(1) 高齢者の犠牲者が多かった理由を考えてみよう。

(2) 災害時要援護者（災害弱者）とは

(3) あなたが「災害時要援護者」になる可能性について考えよう。次の場合に困ること、安全に避難したり、避難所でできるだけよい環境ですごしたりするために必要な支援を考えてみよう。

①海外旅行中に災害が起こる。その国の言葉が分からない。

②足を骨折しており、松葉杖が必要な時に災害が起こる。

	避難の時や避難所で困ること	どのような支援が必要か
①		
②		

5 上記1～4及び資料3から、なぜ人は支え合う必要があるのかを考え、あなたはどのように他の人を支えていきたいと思うか述べなさい。具体的な対象（世界の人、地域の人、子ども、高齢者、障がい者など）を挙げて答えなさい。